

補助金評価シート

区分	重点 重点以外	補助根拠	法令補助 ・ その他補助	開始時期	令和2年4月1日	終期	令和5年5月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	観光循環バス運行補助金 本市を訪れる観光客及び市民が、観光施設等を効率的に移動するための交通手段として、公共交通の回遊性・利便性を高めると同時に公共施設の利用向上を図るため、観光循環バスの運行に係る運賃収入と運行経費の差額を補助する。						
款・項・目	商工費 商業費 観光費						
所属等	観光・国際交流部 観光推進課 電話 025-226-2612						

年 度		令和2年度（1年目）	令和3年度（2年目）	令和4年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	23,332	22,732	12,251
	決算(千円)	21,950	19,538	12,251
補 助 率		1 / 2 以上	1 / 2 以上	1 / 2 以内
目 標		感染症収束後の利用者数の早期回復に向けた現行の運行便数の維持 <目標が数値でない場合の評価方法> 実績報告書等で事業の実施状況を総合的に判断し評価する。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	前年度と同程度(※)の運行便数を維持している。 ※通常期／全日16便（夏期土休日は23便）、冬期／平日7便・土休日14便	前年度と同程度を運行便数を維持している。	前年度と同程度を運行便数を維持している。
補助事業者による情報の公表		パンフレット等		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input checked="" type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 周知・広報を強化し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した利用者数を新型コロナウイルス感染拡大前（令和元年度）の水準に回復させる。 <g～hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 観光循環バスは、本市を訪れる観光客等が市内中心部に点在する観光施設等を効率よく移動するための交通手段であり、観光客を中心とするバス利用者を円滑にまちなかへ誘引し、回遊させることで、さらなる地域経済の活性化が期待できることから、運行を継続していく必要がある。運行経費を運賃収入等で賄うことは難しいことから、引き続き補助する。					